

2022年5月 月例市長記者会見

日時：2022（令和4）年5月23日（月）11：00～

場所：郡山市役所本庁舎2階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 項 目

(1) コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策

ア 令和4年度 子育て世帯生活支援特別給付金について

資料1

イ 令和4年度 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金について

資料2

(2) 新型コロナウイルス関連

ア 新型コロナウイルス感染症患者の状況等について

資料3

イ 新型コロナウイルスワクチン接種について

資料4

(3) 働き盛り世代の野菜摂取応援推進事業について

資料5

(4) 森林環境譲与税の活用について

資料6

<その他 配布資料>

(1) 生活保護の申請件数について

配布資料(1)

(2) 開成館の変遷

配布資料(2)

3 質 問

※質問は、「項目」、「フリー」に分けて行います。

※幹事社

・時事通信社 ・NHK

4 閉 会

令和4年度 子育て世帯生活支援特別給付金について

予算額：4億1,000万円（国補助10/10）



概要

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金（児童一人当たり一律5万円）を支給する。

対象者		想定世帯数(対象児童数)
1 低所得のひとり親世帯 (児童扶養手当受給者等)	(1) 令和4年4月分児童扶養手当受給者	2,800世帯 (4,200人)
	(2) 直近で収入が減少した者(家計急変者)等	200世帯 (300人)
2 その他低所得の子育て世帯 (1以外の令和4年度分の住民税均等割が非課税の子育て世帯)	(1) 令和4年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の支給を受けている者で、令和4年度分の住民税均等割が非課税の者	1,700世帯 (3,100人)
	(2) (1)のほか、対象児童(18歳年度末までの子(障害児については20歳未満))の養育者で、令和4年度分の住民税均等割が非課税の者(高校生のみの養育世帯)や直近で収入が減少した者(家計急変者)等	200世帯 (360人)

※児童扶養手当：18歳年度末までの児童を養育するひとり親
 児童手当：中学校修了前(15歳年度末)までの児童を養育している者
 特別児童扶養手当：中度又は重度の障害を有する20歳未満の児童を養育している者

合計 4,900世帯 (7,960人)
 給付額総額 3億9,800万円(見込み)

給付スケジュール(予定)

対象者	5月から6月	7月～受付期限(未定)まで
1 (1) ※申請不要	5月30日 支給通知発送 支給日:6月16日	※4月分児童扶養手当が追加で認定された場合、随時支給
1 (2) ※要申請	6月20日 申請受付開始	審査後速やかに支給
2 (1) ※申請不要	★税額確定(6月15日) 6月30日 支給通知発送	支給日:7月15日 ※4月分児童手当等が追加で認定され、非課税者であった場合、随時支給
2 (2) ※要申請		7月19日 申請受付開始 審査後速やかに支給

令和4年度 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金について

予算額：172,000千円（国補助10/10）



給付対象世帯	想定世帯数	予 算
①基準日（令和3年12月10日）において、世帯全員の令和4年度分の住民税が非課税である世帯 ②①のほか、令和4年1月以降の家計が急変し直近の収入減少により住民税非課税相当とみなされる世帯 ※令和3年度分で給付金を受けた世帯を除く	1,500世帯 【1世帯当り10万円】	扶助費 150,000千円 委託料 21,421千円 役務費 484千円 需用費 95千円 合 計 172,000千円

事業スキーム

【プッシュ型】

【申請型】



給付スケジュール(予定)

対象世帯	6月	7月	8月	9月	10月
住民税非課税世帯	国県通知 R4 市民税額確定 対象者抽出 確認書印刷	確認書送付・受付期間【7月上旬～9月30日】 審査・決定通知	7月下旬から支給開始	確認書等提出期限	
家計急変世帯	【随時】	対象者 必要書類入手 → 申請	郡山市 審査・決定通知 → 支給		

郡山市の新型コロナウイルス感染症患者の状況

2022.5.21公表分（5.20判明分）まで

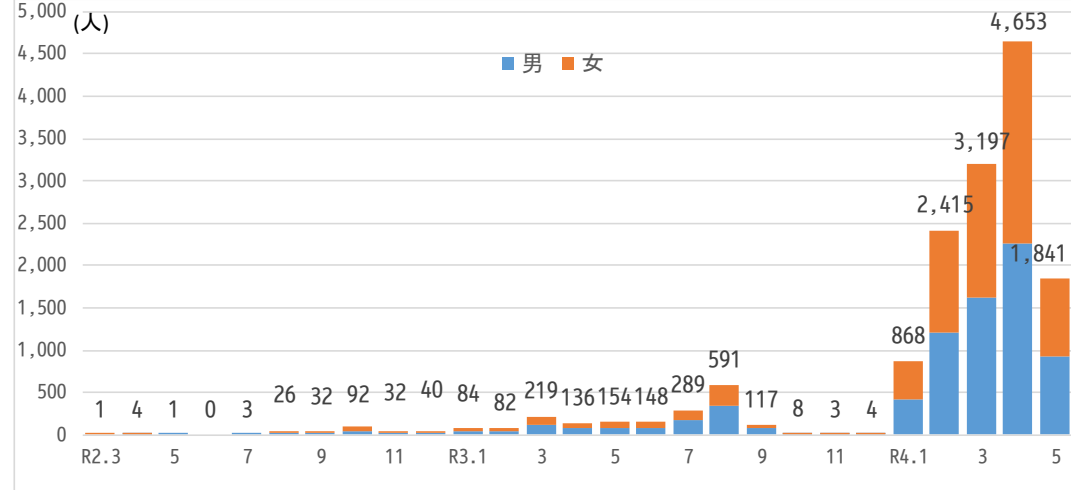
◆陽性患者の状況

累計	男女別		入院中	宿泊療養中	自宅療養中	療養先調整中	退院・療養終了
	男	女					
	15,040	7,608 (51%)					

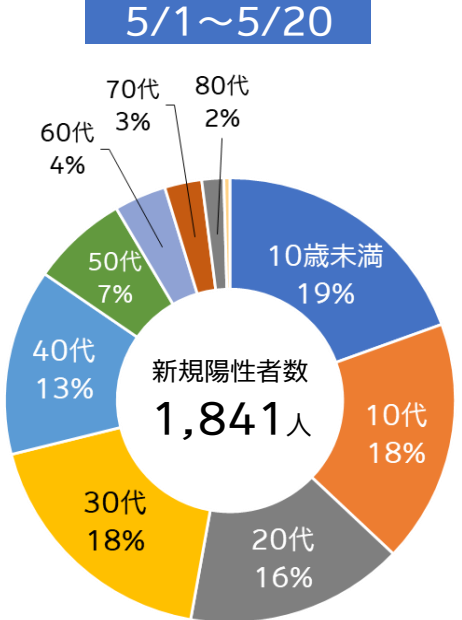
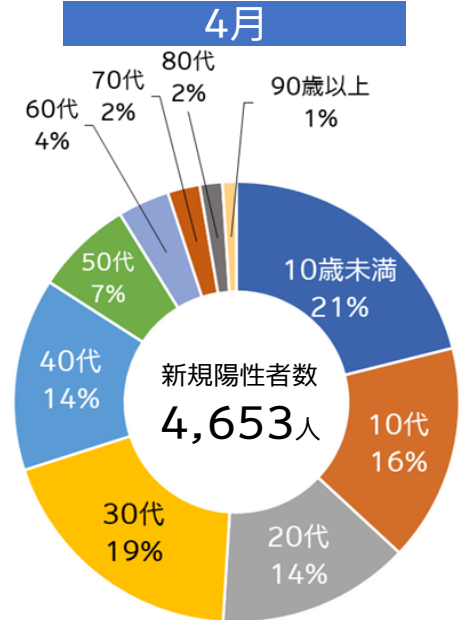
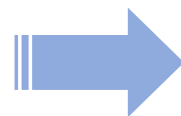
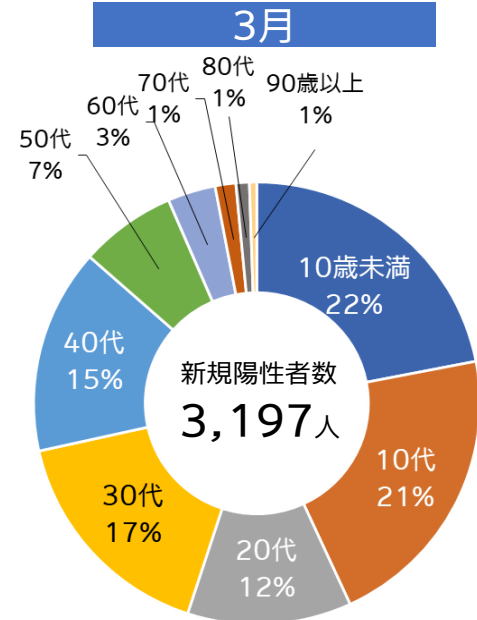
※入退院情報は速報値。

平均療養期間	9.1日
--------	------

◆月別陽性患者発生数（判明日基準）

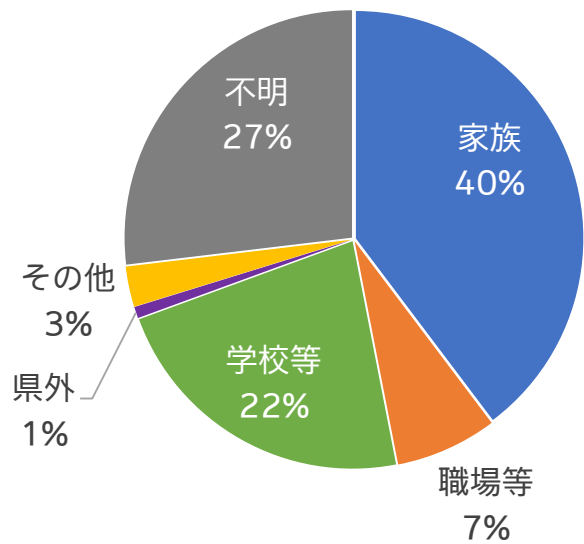


◆年代別感染者の推移



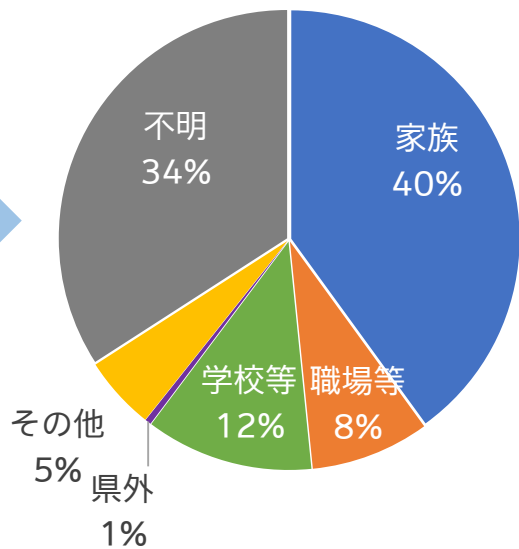
推定感染源の推移

3月



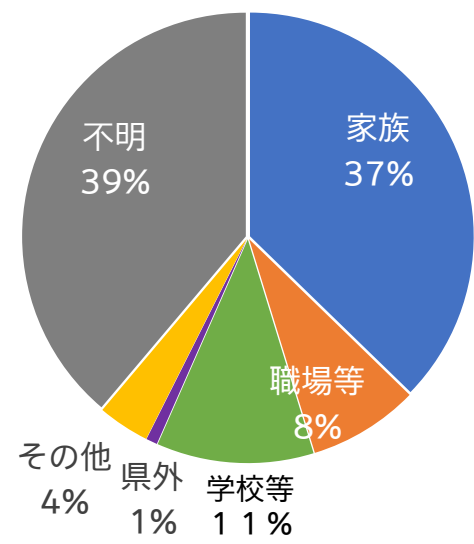
n = 3,197

4月



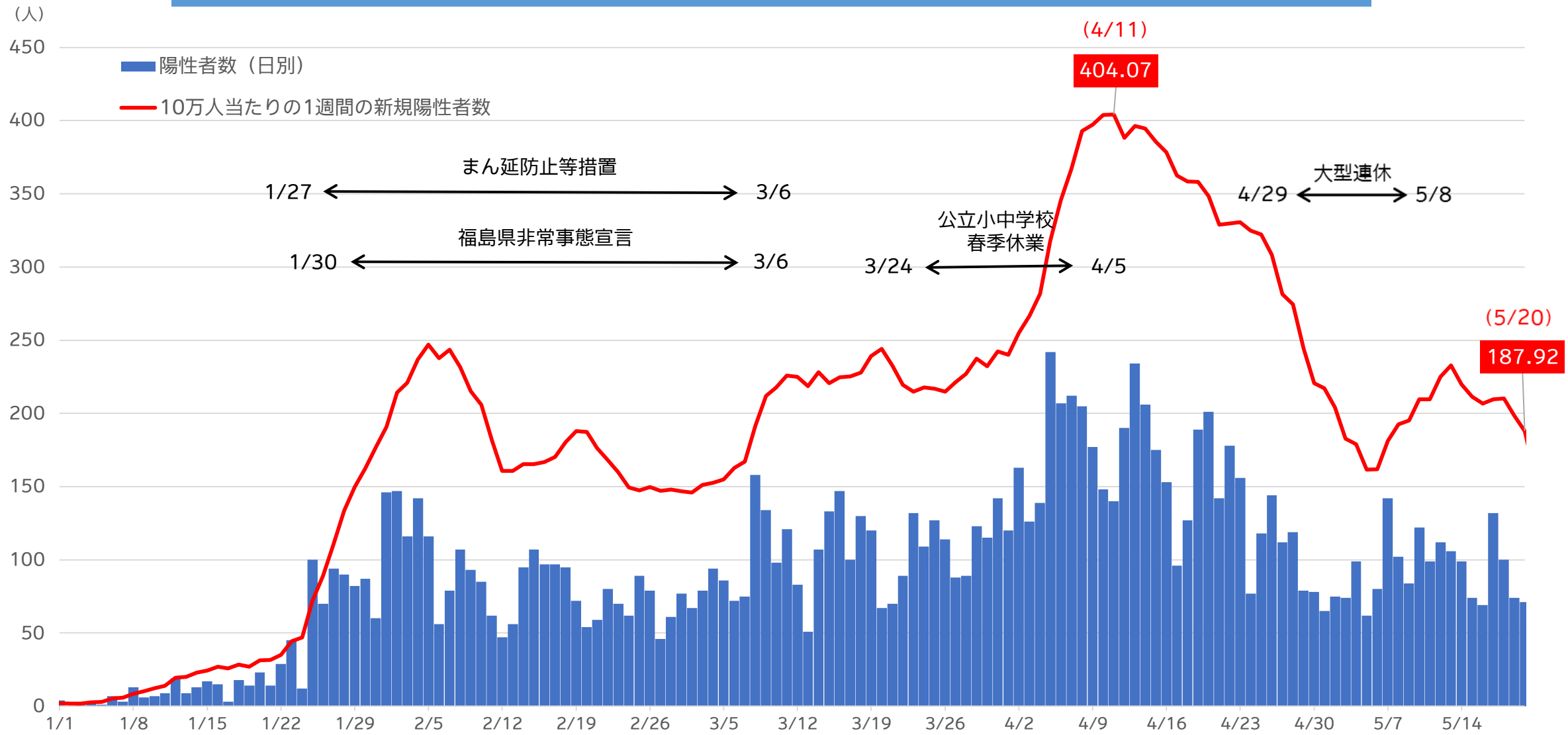
n = 4,653

5月1日
~20日



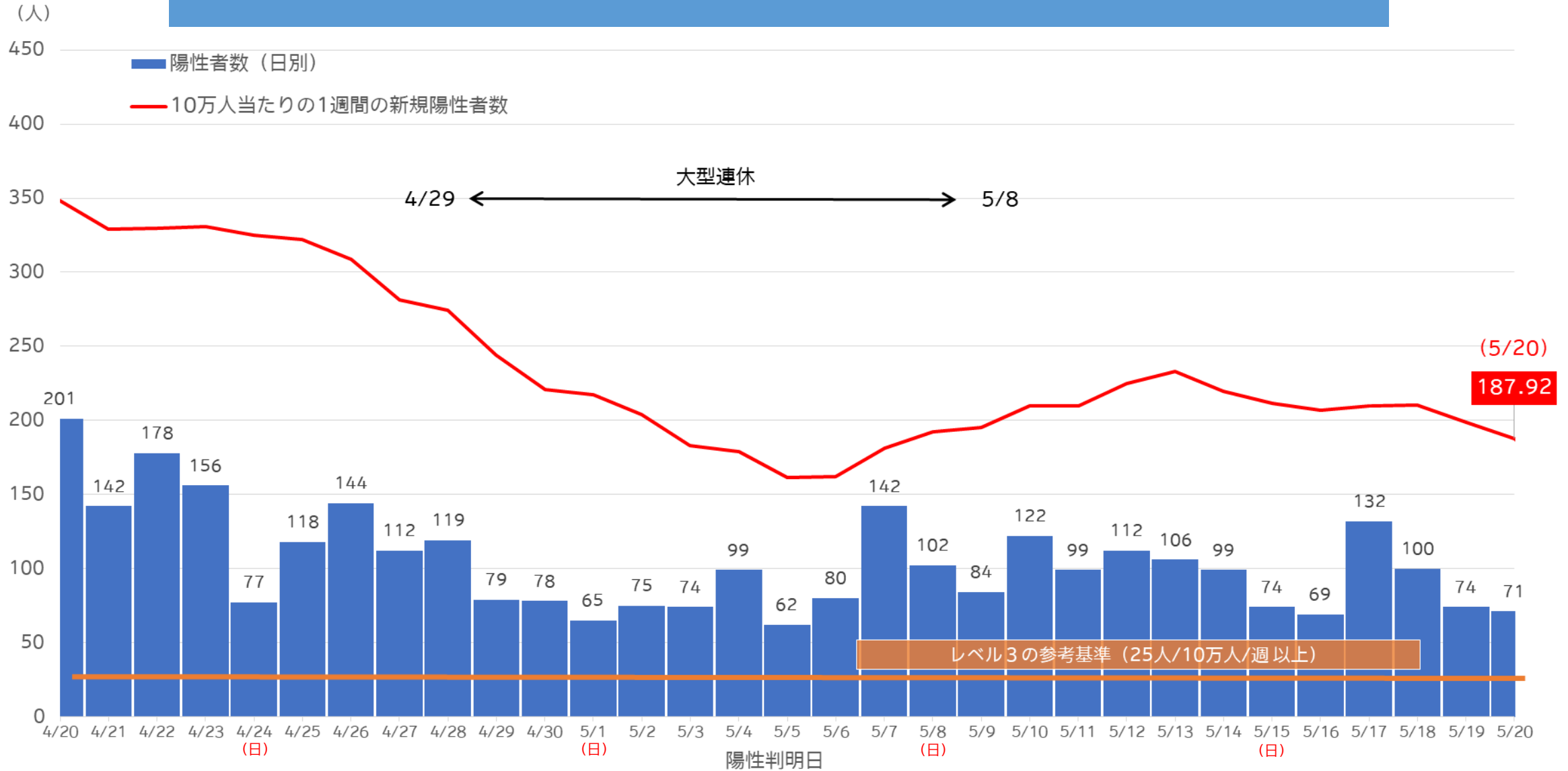
n = 1,841

新規陽性者数の推移【2022.1～】

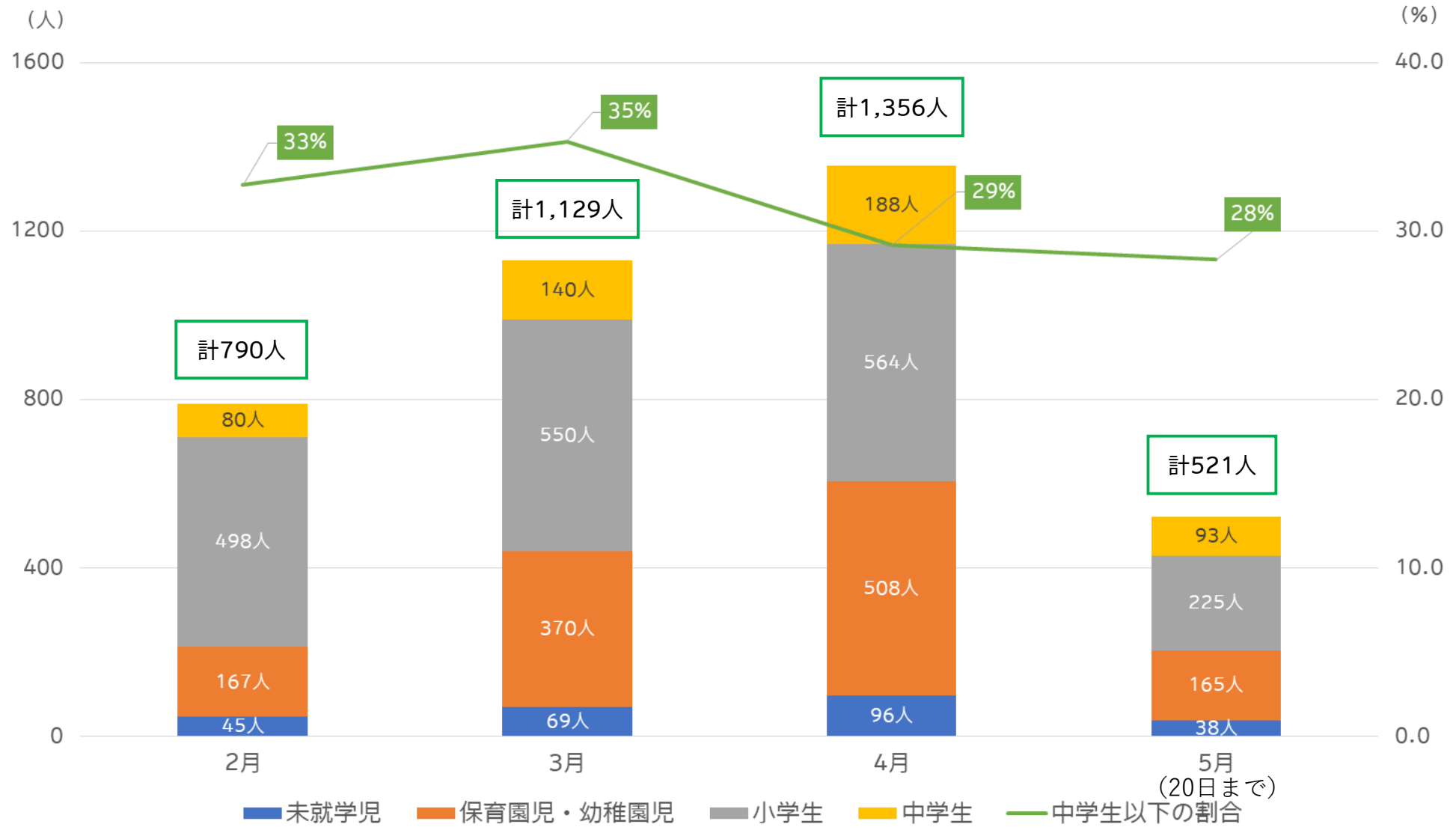


陽性判明日

新規陽性者数の推移【直近1か月】



中学生以下の陽性者数の推移



■ レベル判断の参考とするモニタリング指標（福島県指標）

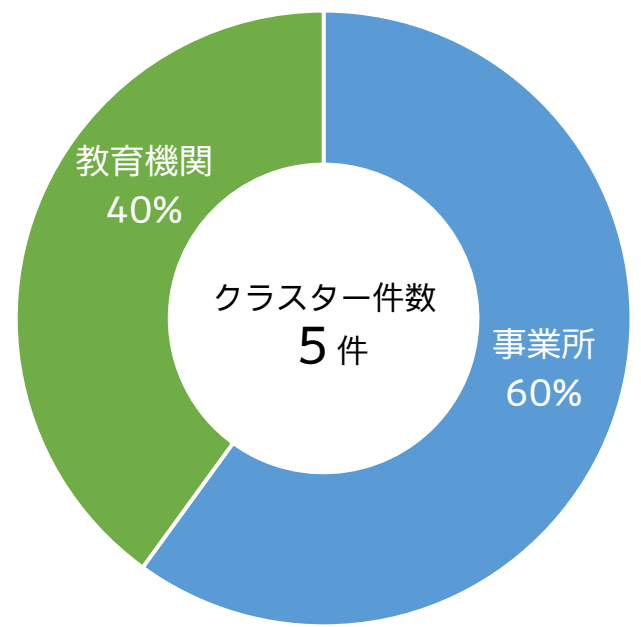
2022/5/20 現在

	感染の状況			医療提供体制等の負荷				
	PCR検査 陽性率	新規陽性者数 (人口10万人あたり)	感染経路 不明割合	入院率	療養者数 (人口10万人あたり)	確保病床の 使用率	予測ツールによる 病床数の推計 (3週間後の必要病 床数)	重症用病床 使用率
郡山市の現状 (5/14~5/20)	7.0 % (569件 / 8,132件)	187.92 人 (619人 / 329,400人)	32.1 % (199件 / 619件)	1.7 % (14件 / 814件)	247.12 人 (814人 / 329,400人)	—	—	—
(5/13~5/19)	7.2 %	198.54 人	35.8 %	1.8 %	256.53 人	—	—	—
(5/12~5/18)	7.7 %	210.08 人	36.8 %	2.1 %	265.03 人	—	—	—
福島県の現状 (5/20現在)	15.6 % (3,139件/20,160件)	168.18 人 (3,083人/1,833,152人)	59.5 % (1,834件/3,083件)	4.7 % (204件/4,362件)	237.95 人 (4,362人/1,833,152人)	27.5 %	17.5 %	0.0 %

レベル2 の参考基準	5 %以上	15 人以上	50 %以上	40 %以下	20 人以上	20 %以上	50 %以上	20 %以上
レベル3 の参考基準	10 %以上	25 人以上	50 %以上	25 %以下	30 人以上	50 %以上	80 %以上	50 %以上

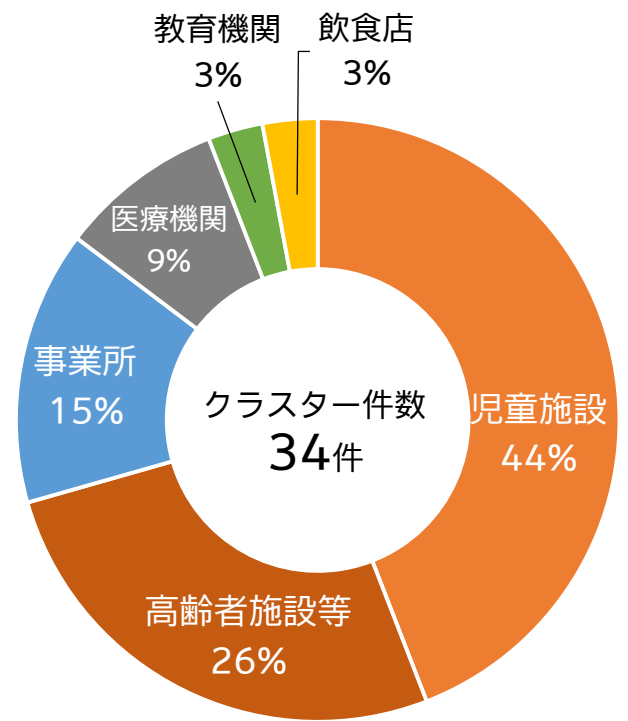
■ クラスタ発生件数比較【2021年4月、2022年4月】

2021年4月



※事業所と教育機関で発生

2022年4月



※児童施設（幼稚園、保育施設、放課後児童クラブなど）や高齢者施設等で多数発生

新型コロナウイルスワクチン接種について



2022年5月 月例市長記者会見
資料4-1 ワクチン接種PT

4回目接種の概要

1 対象者

3回目接種から**5か月**が経過した方のうち、

(1) 60歳以上の方

(2) 18歳以上59歳以下で、**基礎疾患等を有する方**

※基礎疾患等の範囲は「資料4-2」参照

※(2)に該当する方への接種券発送の流れは「資料4-3」参照

⇒ (2) については、予防接種法第9条の努力義務の適用外

2 接種券発送

5月30日(月) から ※以降は週ごとに順時発送

※接種券が届いた方から、予約の上、接種可能

3 使用ワクチン

ファイザー社ワクチン・武田/モデルナ社ワクチン

4 接種体制

- ・個別接種 (市内の139医療機関)
- ・集団接種 (対象者が増加する7月上旬から開始予定)

基礎疾患等の範囲（4回目接種）

◆ 18歳以上59歳以下の方は、次のいずれかに該当する場合に4回目接種の対象となる。

1 以下の病気や状態で、通院または入院している方

- 慢性の呼吸器の病気
- 慢性の心臓病（高血圧を含む。）
- 慢性の腎臓病
- 慢性の肝臓病（肝硬変等）
- インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
- 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
- 免疫の機能が低下する病気（治療や緩和ケアを受けている悪性腫瘍を含む。）
- ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
- 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
- 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
- 染色体異常
- 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態）
- 睡眠時無呼吸症候群
- 重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している場合）

2 基準（BMI 30以上）を満たす肥満の方

3 新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師が認める方

基礎疾患等がある場合の接種券発送の流れ（4回目接種）

（1）3回目接種から5か月経過後に順次発送

⇒ 下記に該当する方に対しては、4回目接種が可能になった段階で接種券を順次発送する。

- ◆ 初回（1回目・2回目）接種時に基礎疾患等について申告済みの方
- ◆ 精神障害者保健福祉手帳を所持している方
- ◆ 自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する方
- ◆ 療育手帳を所持している方

（2）申請を受付後、3回目接種から5か月経過後に順次発送

⇒ 初回（1回目・2回目）接種時に基礎疾患等について申告をしていない方で、4回目接種を希望する方は、下記のいずれかの方法で申請が必要。＜6月6日（月）から受付開始＞

※申請を受付後、3回目接種日から5か月を経過した方から接種券を順次発送する。

1 かんたん電子申請による申請

<https://www.task-asp.net/cu/eg/lar072036.task?app=202200321>



（QRコード）

2 電話による申請＜市コールセンター＞

0120-994-883（平日の午前8時30分～午後5時15分まで受付）

3 郵便による申請

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

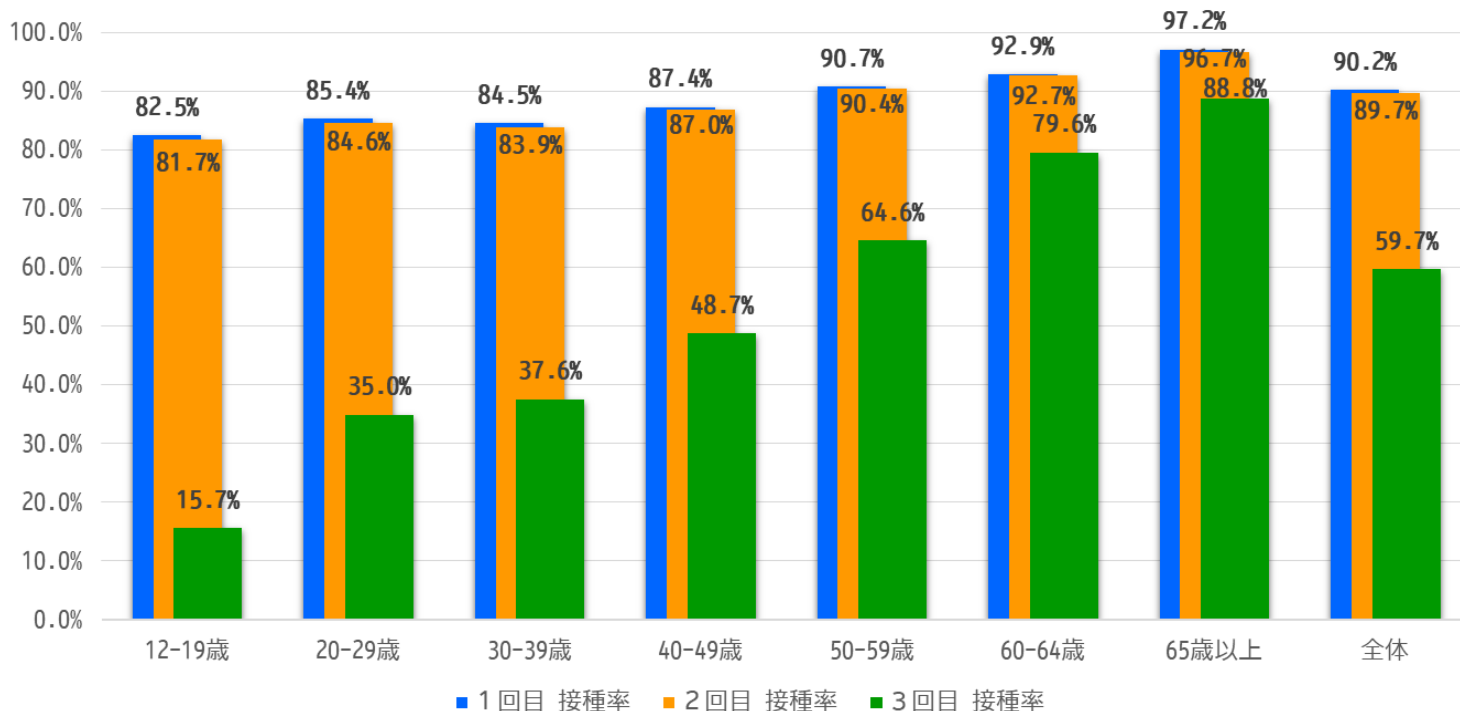
「新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム」宛て

年代別の接種状況（1～3回目）

5/19 現在

年代	対象者数	1回目		2回目		3回目	
		接種回数	接種率	接種回数	接種率	接種回数	接種率
12-19歳	23,620人	19,494回	82.5%	19,301回	81.7%	3,702回	15.7%
20-29歳	31,619人	27,003回	85.4%	26,736回	84.6%	11,053回	35.0%
30-39歳	37,608人	31,790回	84.5%	31,546回	83.9%	14,142回	37.6%
40-49歳	45,721人	39,940回	87.4%	39,763回	87.0%	22,285回	48.7%
50-59歳	42,538人	38,603回	90.7%	38,475回	90.4%	27,478回	64.6%
60-64歳	21,259人	19,750回	92.9%	19,698回	92.7%	16,923回	79.6%
65歳以上	86,569人	84,104回	97.2%	83,703回	96.7%	76,868回	88.8%
全体	288,934人	260,684回	90.2%	259,222回	89.7%	172,451回	59.7%

年代別接種率



【参考】国・都道府県の接種状況

◆ 首相官邸ホームページ
『新型コロナワクチンについて』
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html>



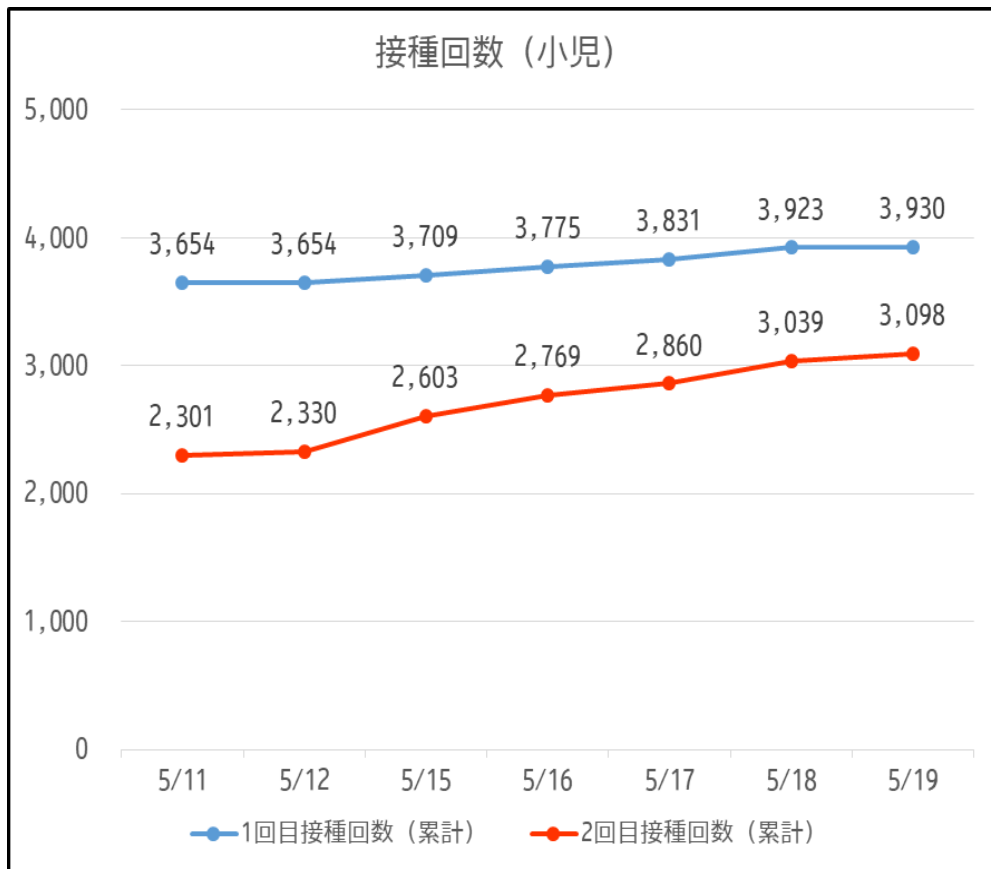
(QRコード)

小児接種の状況

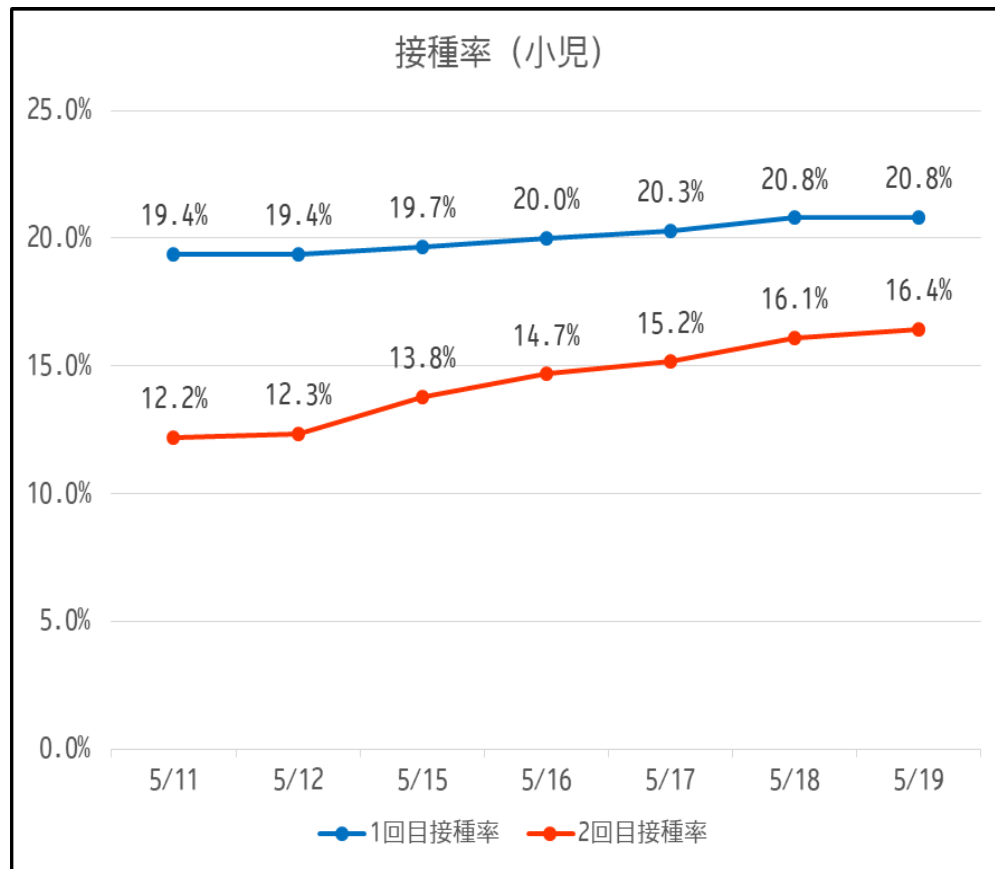
5/19 現在

<対象者数>
・小児（5歳～11歳）：18,867人

1. 接種回数の推移



2. 接種率の推移



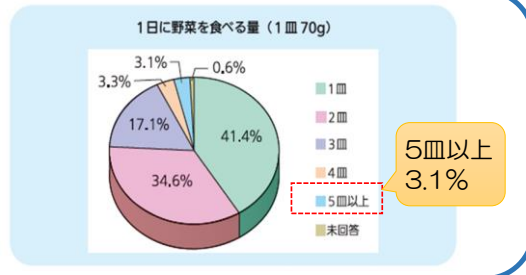
※接種回数はワクチン接種記録システム（VRS）に入力された数値です。

※接種回数は、開庁日前日の数値を反映しています。

1. 現状

本市の大多数の方が野菜の摂取不足にある。

[2016 (H28) 年度
郡山市健康づくりに関するアンケート]



5皿以上
3.1%

2. 目的

働く世代の方を対象に、野菜摂取の必要性等に関する理解を深め、野菜の摂取不足の改善を図ることにより生活習慣病予防・改善につなげる。



3. 事業概要

福島県「市町村先駆的健康づくり実施支援事業」(県補助：上限120万円)を活用し、カゴメ(株)と連携し、事業所を対象に実施。

《内容》

- ・推定野菜摂取量の測定
- ・食生活改善セミナー
- ・「朝ベジ運動4週間チャレンジ」(野菜摂取量の記録)
- ・アンケート実施(事業実施前後)
- ・評価分析

<実施対象>

	事業所数	参加者数
2020(R2)	1社	58名
2021(R3)	2社	63名
計	3社	121名

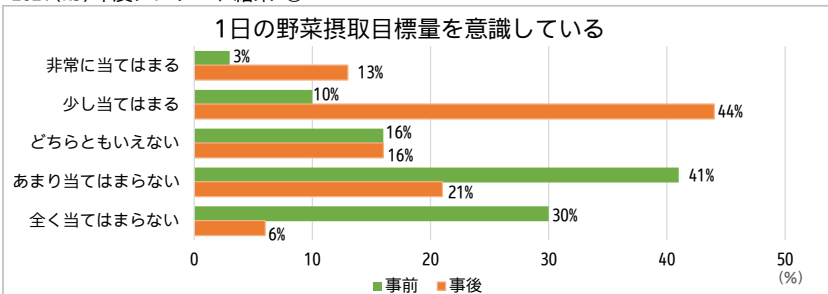
4. 事業成果

野菜摂取(健康)への意識が高まり、野菜摂取不足の改善が図られた。

《参加者の主な改善点》 ※アンケート結果(実施前後)より

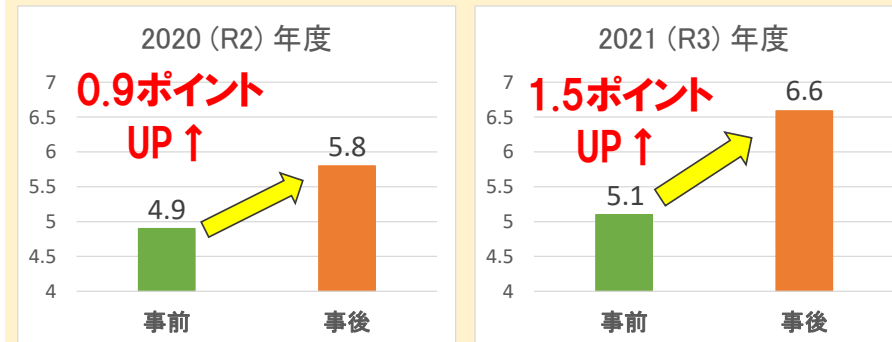
- ①目標量を意識して野菜を食べる方が増えた。
- ②野菜を先に食べる方が増えた。
- ③外食時に栄養成分に配慮する方が増えた。

2021(R3)年度アンケート結果 ①



《野菜摂取レベルの変化》

※野菜摂取目標量350gは、測定値7~8程度。



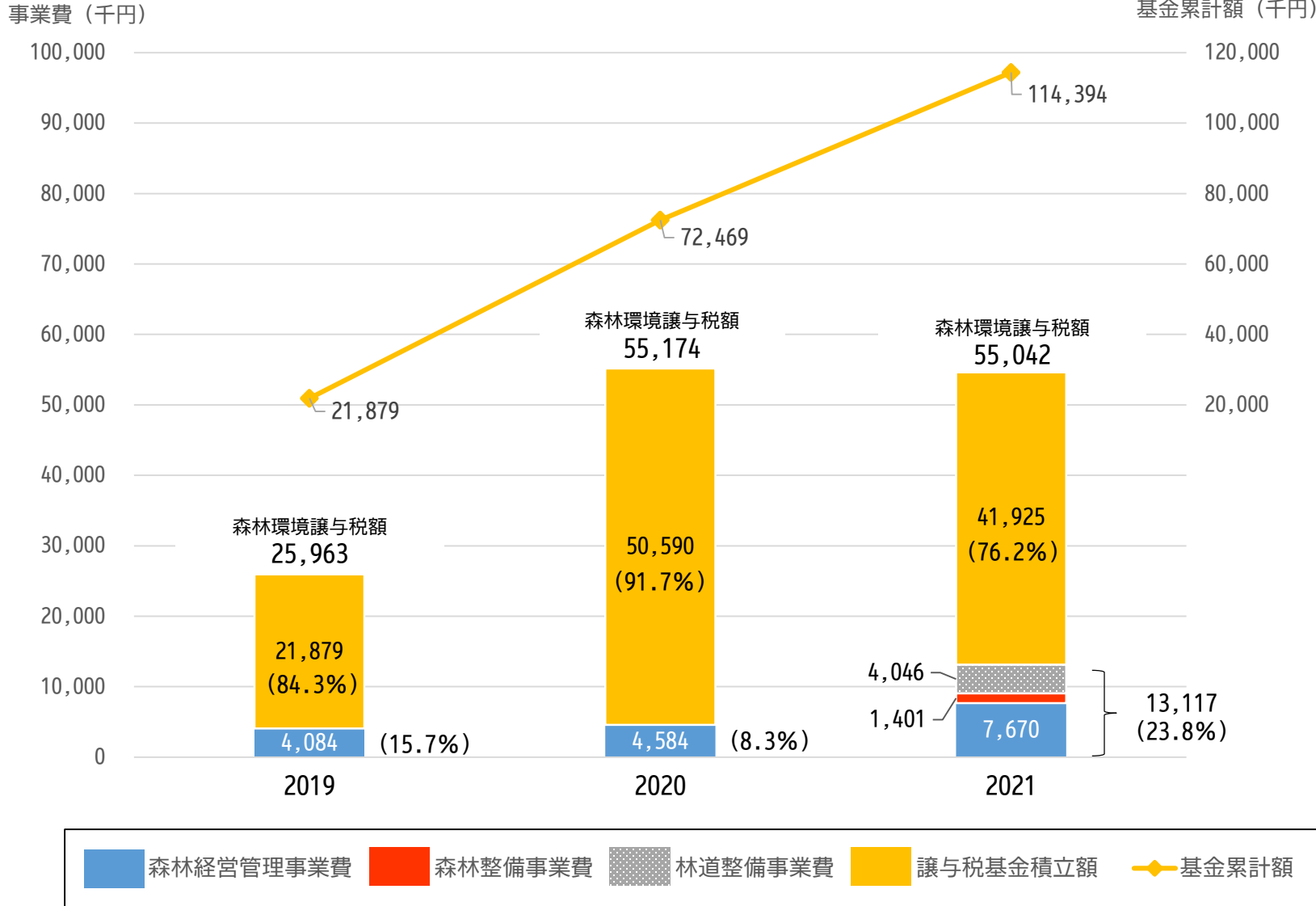
ベジチェック

手のひら(皮膚)のカロチノイド量の測定により、野菜摂取量の推定ができる機器

5. スケジュール

2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
福島県先駆的健康づくり実施支援事業《県補助》 本市とカゴメ(株) (協働実施)		市独自事業 【継続】
		実施予定人数等 ・対象企業、人数：4社(約300名) ・実施時期：7月~12月

森林環境譲与税の活用について



森林経営管理事業：林業経営の集積・集約化を図るための森林調査等
 森林整備事業：適正な森林整備のため、造林事業への補助
 林道整備事業：森林の管理に必要な林道の整備

➤ 森林環境譲与税の譲与基準

- ・私有林人工林面積
- ・林業就業者数
- ・人口 等

➤ 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律（平成31年法律第3号）において用途を規定

- ・森林の整備
- ・森林の整備を担うべき人材の育成及び確保
- ・森林の有する公益的機能に関する普及啓発
- ・木材の利用促進 等

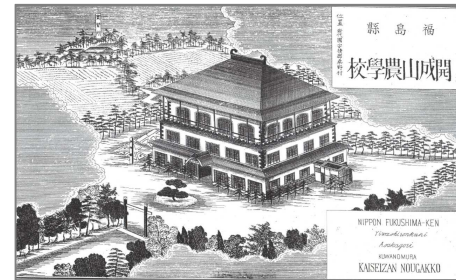


開成館の変遷

- 1874 明治6 同年に発足した開成社が、五十鈴湖の西南に開墾の事務所として落成（平屋建・旧開成館）
- 1874 明治7 現開成館が福島県第十区区会所として建設（三階建）。「開拓掛」の事務所も置かれた旧館の名を移して開成館と命名
- 1876 明治9 明治天皇東北巡幸の行在所となり、玉座、床の間等を設ける
- 1879 明治12 区制廃止に伴い、安積郡役所を設置
- 1881 明治14 明治天皇東北巡幸の行在所となる（2回目）
- 1883～ 明治16～ 開成館に県立開成山農学校開校
その後、桑野村役場、師範学校校舎、宿舍などに転用
- 1933 昭和8 **明治天皇ゆかりの史跡として国の史跡に指定**
- 1948 昭和23 引揚者等の市営住宅に転用し改造 ⇒ **国史跡指定が解除**
- 1960 昭和35 **県指定重要文化財に指定**
- 1966 昭和41 大規模改修により復元
- 1968 昭和43 歴史民俗資料館として一般公開開始
- 1992 平成4 **安積開拓発祥の地として立岩邸等とあわせて郡山市史跡に指定**
安積開拓資料館へ変更
- 1997 平成9 内部改修工事・安積開拓資料館リニューアルオープン
- 2009 平成21 **近代化産業遺産に認定**
- 2011 平成23 東日本大震災で被災
- 2012 平成25 災害復旧工事实施 資料館として再開
- 2016 平成28 **日本遺産に認定された 猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリーの構成文化財となる**
- 2021 令和3 令和3年2月福島県沖地震で被災
- 2022 令和4 復旧に向け基本調査を実施
- 2022 令和4 令和4年3月福島県沖地震で被災



(建設当初)



(農学校時代に作成されたエッチング)



(戦後市営住宅時代)



(東日本大震災時の被害)



(昭和41年復元時の開成館)



(東日本大震災復旧後の姿)

令和4年5月22日12時24分頃発生 of 茨城県沖地震について

■地震概要

発生日時	令和4年5月22日12時24分頃
震源	茨城県沖（北緯36度.4分、東経141度24.2分）
震源の深さ	約5km
地震の規模（マグニチュード）	6.0
最大震度	【最大震度5弱】（福島県浜通り）いわき市で最大震度5弱を観測した他、東北地方から中部地方にかけて震度4～1を観測。 （震度4）郡山市、田村市、猪苗代町、古殿町
長周期地震動観測情報	福島県浜通り（長周期地震動階級2）
○本市震度	【郡山市】震度4 【郡山市湖南】震度3

■被害状況（令和4年5月23日9時00分現在）

人的被害 (死者・行方不明者・重傷者・軽傷者)	被害なし	
住家 (全壊・半壊・一部破損)	被害なし	
非住家	公共建物	被害なし
	その他	被害なし
その他	停電情報・ガス漏れ情報なし	

■（参考）各地の震度に関する情報（気象庁）

